



川づくりかわら版 一級河川 “いわさき川”

平成20年12月
発行 特定非営利活動法人
やはば協働センター
電話 697-3399

平成20年度地域活性化ワークショップを開催しました



ここ数年で岩手医大の移転工事、うずら沢橋上流の河川改修工事などから、岩崎川の周辺も大きく環境が変わっていくことが予想されます。今回のワークショップは、普段見過ごしている岩崎川の自然とふれあいながら、川沿いに咲いている植物を使って手作り押し花を作成すること、岩崎川を中心とした官民協働の取り組みや地域の活動をPRする掲示板づくりを目的としました。

(ワークショップとは「検討会」のことを意味します。参加者が同じテーマについて、一緒に考え検討する作業のことです。)

「親子ふれあい講座」～押し花しおり&岩崎川PR看板づくり

日時 平成20年10月25日(土)午前9時～12時30分
場所 三谷公民館、岩崎川周辺
参加者 地域在住の住民、東徳田1区子ども会ほか (合計31名)
実施者 主催:盛岡地方振興局土木部 事務局:NPO法人やはば協働センター
協力:矢巾町道路都市課、マイカイやはば、丸三建設(株)、(株)佐々木組、(株)水清建設
内容
・川沿いの植物を採取して、オリジナルの押し花しおりづくり
・岩崎川や地域に関係した情報を発信するための掲示板づくり



植物の採取

押し花にするための植物採集をしました。堤防を歩き、探してみると以外にたくさんの種類の植物が生息していることに驚く子ども達。コスモス、タンポポ、アサガオなど、しおりの完成を楽しみに数種類の花を採取しました。さらに、町中心部を流れる岩崎川の自然を再認識して、自然の豊かさを知ることができました。

押し花づくり

- 手順
- ①植物を電子レンジを使って乾燥させる
 - ②乾燥させた植物をアイロンで薄く平らにする
 - ③好きな色の型紙に花びら1枚1枚を貼り付け
 - ④ラミネートシートにはさみ密閉する
 - ⑤型紙にあわせカット、穴をあけひもを通して完成



事前に作成した見本を見せて、手順を説明しました。いざ作業が始まると、子ども達の想像力の豊富さに驚かされ、予想以上に素敵なしおりが多数出来上がりました。小さな花びら1枚1枚を丁寧に貼り付け、花をつくりだす子ども。大きめの葉を使い、型紙の色に合わせてシンプルに仕上げた子ども。どのように仕上がるか心配そうな顔をする姿もありましたが、色鮮やかに仕上がった押し花しおりを見て、子供たちの表情が笑顔に変わりました。岩崎川に生息している植物を使ったしおりづくりを通して、身近な自然に興味を持ち、地域を流れる大切な川であることを知ってほしいものです。



掲示板づくり

企業より協力をいただき掲示板が完成。今後、岩崎川や地域に関係した情報発信に活用していきたいと思っております。掲載の問い合わせは、盛岡地方振興局土木部または、NPO法人やはば協働センターまで。



芋煮会

丸三建設さんより、ワークショップ終了後芋のこ汁の提供がありました。押し花づくりでお腹を空かした子ども達その他、参加者全員で美味しくいただきました。当日は晴れていた気温が低かったため、体のしんまで温まることができました。ありがとうございました。最後に全員で記念写真をパチリ。



利活用について

市街化形成が進む矢巾町の中央を流れる岩崎川。最近、環境問題やグリーンツーリズムなど注目されている中、河川空間の有効活用を再考すべきです。地域の住民や企業に皆さんが積極的にアイデアを出し、話し合ってみませんか？